

# Europe Indicators

発表日:2020年5月21日(木)

## 欧州経済指標コメント:5月ユーロ圏PMI速報

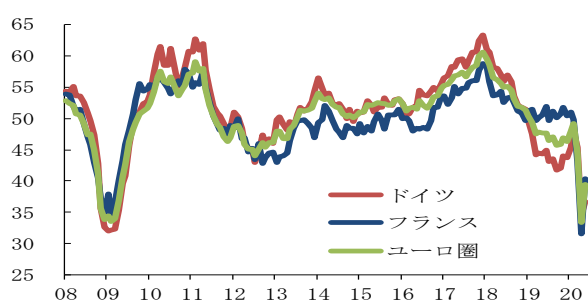
～都市封鎖の段階的な解除後も戻りは弱い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

- 5月のユーロ圏の総合PMIの速報値は30.5と、史上最低を更新した前月の13.6から大きく切り返した。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数（製造業PMIの構成項目の1つ）が前月：18.1→今月：35.4に、サービス業活動指数（サービス業PMI）が12.0→28.7と、何れも過去最低を更新した前月から持ち直した。指数の水準は何れもコロナ危機の影響が確認され始めた3月値をやや上回る程度で（製造業産出指数は3月値をやや下回る）、コロナ危機前の水準への復帰にはかなりの距離がある。
- 製造業PMIの構成5項目は、産出（18.1→35.4）、新規受注（18.8→29.2）、雇用（35.8→37.5）の悪化ペースが前月から緩和（引き続き50割れ）、中間財在庫（48.9→48.9）が前月から横ばい、入荷遅延（25.1→36.8）が上昇（財需給の緩和を意味し、製造業PMIの下押し要因）。入荷遅延の上昇からは、供給制約が部分的に解消されたことが示唆される一方、雇用の反発が弱い。サービス業でも（PMIは活動指数のみから作成）、新規受注（11.7→28.1）や雇用（32.6→37.4）の悪化ペースが前月から緩和。国別・業種別には、ドイツとフランスともに製造業・サービス業が揃って悪化ペースが緩和。ここから逆算して、その他ユーロ圏も同様の動き。
- 今月のPMIは、多くの国で進む段階的な都市封鎖解除の動きを反映し、全般に経済活動の底入れを確認する内容となった。ただ、項目別・国別計数は何れも反発が弱く、制限解除後の経済活動の回復ペースが緩やかなことが示唆される。

■ユーロ圏：製造業PMI



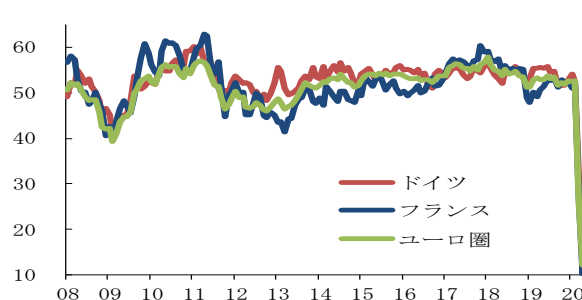
出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

	2019				2020									
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
ユーロ圏 総合産出指数	51.8	51.2	50.7	44.2	51.9	50.1	50.6	50.6	50.9	51.3	51.6	29.7	13.6	30.5
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	47.7	46.4	46.4	47.2	47.0	45.7	45.9	46.9	46.3	47.9	49.2	44.5	33.4	39.5
ユーロ圏 サービス業活動指数	53.1	52.8	52.3	43.9	53.5	51.6	52.2	51.9	52.8	52.5	52.6	26.4	12.0	28.7
ドイツ 総合産出指数	52.5	50.3	49.5	45.6	51.7	48.5	48.9	49.4	50.2	51.2	50.7	35.0	17.4	31.4
ドイツ 製造業購買担当者指数	44.6	42.8	43.3	46.2	43.5	41.7	42.1	44.1	43.7	45.3	48.0	45.4	34.5	36.8
ドイツ サービス業活動指数	55.6	53.6	52.1	46.1	54.8	51.4	51.6	51.7	52.9	54.2	52.5	31.7	16.2	31.4
フランス 総合産出指数	51.3	51.9	52.2	44.0	52.9	50.8	52.6	52.1	52.0	51.1	52.0	28.9	11.1	30.5
フランス 製造業購買担当者指数	50.8	50.3	50.9	48.0	51.1	50.1	50.7	51.7	50.4	51.1	49.8	43.2	31.5	40.3
フランス サービス業活動指数	51.7	52.4	52.5	43.6	53.4	51.1	52.9	52.2	52.4	51.0	52.5	27.4	10.2	29.4

出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

